

国内リテール事業 (主要5社*)		2020年						2021年						通期
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
既存店	売上高	97.8%	98.5%	85.1%	99.6%	96.7%	96.7%	%	%	%	%	%	%	95.6%
	客数	93.4%	94.8%	87.6%	96.1%	95.0%	95.0%	%	%	%	%	%	%	93.6%
	客単価	104.7%	103.8%	97.1%	103.6%	101.8%	101.9%	%	%	%	%	%	%	102.1%
	対象店舗数	521店	522店	520店	518店	523店	528店	店	店	店	店	店	店	528店
	土日休日数増減	+1日	+1日	-1日	-1日	+1日	-1日							0日
全店	売上高	100.8%	105.5%	88.0%	102.5%	99.2%	99.9%	%	%	%	%	%	%	98.7%
	店舗数	579店	577店	578店	578店	581店	582店							582店
	前年同月店舗数	559店	560店	561店	561店	561店	563店							563店

※ (株)ドン・キホーテ、ユニー(株)、(株)長崎屋、UDリテール(株)、(株)ダイシン百貨店

- 当月は、(株)ドン・キホーテについては、免税売上高の蒸発（押下げ7.7pt）は継続していますが、ユニー(株)、UDリテール(株)及び(株)ダイシン百貨店は前年を上回りました。
 ※ () 内数値は、(株)ドン・キホーテ既存店数値となります。
- (株)ドン・キホーテは、免税売上を除く既存店全体の売上が96.7%となる中、郊外店舗は100.9%と引き続きプラスで推移しました。
 上旬は、コロナの第3波の不安から、都市部を中心に客数の落ち込みが大きくなり、クリスマス関連やパーティグッズ、バラエティ商品の不振に影響しました。
 しかし、下旬は、最寄り品を中心に、歳末・正月需要は活況となり、寒さが厳しくなった事で加湿器や暖房器具などの冬物季節商品が伸長しました。
- ユニー(株)は、既存店売上が104.2%と好調でした。コロナ禍のクリスマス、歳末・正月と巣ごもりの需要が重なった事で、アナログゲームやカードゲームなどが売上伸長しました。また、食品は、菓子類、酒類をはじめ、洋菓子、おせち、お餅などが好調でした。
- 上旬から中旬にかけて、強い寒波の影響で、全国的に冷え込みました。中旬までの平均気温は、前年より0.9度、平年より0.2度低くなりました。
 下旬は一時的に冬の気圧配置が緩んだ事で、前年より1.5度、平年より1.0度高くなりました。また、東京の1mm以上の雨天日は、3日でした。

<1月度 新規出店予定>

なし

